

高校1年総合人間科

生徒個人研究におけるフィールドワーク

榎本直子

1. はじめに

本校では、長年にわたって高校1年において「野外学習」に取り組んでいる。地理・地学巡見に始まり、現代社会の野外学習、そして社会・理科の環境問題を軸とした総合学習的野外学習と教科主催の形で繰り返されてきた。その実態形態もバスでの1学年同一の団体見学、少人数（7・8人）グループによるテーマ別フィールド・ワーク、個人選択制の3コース（1コース45人程度）など変遷を経てきた。（参考；田中裕巳「現代社会におけるフィールド・ワーク（第2報）」90年、本校紀要第35集、川田基生他「社会科・理科高校1年野外学習実施報告」92年、本校紀要第37集）

総合人間科のカリキュラムを考えるにあたっては、学校行事との連携と教科を越えた学年担任団のチーム・ティーチングが核として取り上げられた。高校1年では、これまで教科の行事として実施してきた野外学習を学校行事として位置づけ、学年団として取り組むこと、総合人間科の中心となる行事としてそのあり方を検討することとなった。

2. 総合人間科における「野外学習」

総合人間科では、生徒一人一人の目的意識へ働きかけ、自己発見、自己拡大につながる学習体験を通して自分自身の人生を自覚的に選択していく力を育てることをめざしている。具体的には、人類が直面している現代的課題を念頭に①学習における共同化（教えるから学び合う）、②社会と結びつき地域に出ていく学習（脱教室）、③生徒の自主活動への発展を視野にいれた学校文化・学校行事の重視、を目的としている。

高校1年では、生徒の社会的視野を広げ体験を重視する「脱教室の学習」は、2学期に予定されていた野外学習を中心的行事とにおいて、年間計画を立案した。これまでの野外学習は、事前学習や研究集録の発行はあったものの、年に1回の行事であり、教師主導型の生徒にとっては受動的な側面があった。テーマや行き先についても様々な実施形態はあったもののある程度お仕着せの感が否めなかった。総合人間科という1年間1単位の授業のなかで、十分な時間的保障と学年団

の指導体制を確立し、これまで不十分であった点を洗い出しながら一人一人の生徒にとって達成感のある行事をめざした。

また、学校行事として設定してある「野外学習」の他、もっと日常的に地域社会へ出かけ実地体験を積む機会を積極的に薦めた。これまでの実践を参考にしながら、より発展させるべくフィールドワークに取り組む姿勢を明確にした。総合人間科の学習の中心はフィールドワークにあること、書物による知識ではなく体験に基づく学習をめざすことをたえず生徒に訴えていくことを心がけた。

3. 個人研究とフィールドワーク

総合人間科初年度の高校最初の学年であることから、この教科の目的の第一歩を「自己発見」—興味・関心の発掘—におき、一人一人の考えを大切に個人研究に取り組んだ。自分の興味・関心から問題発見を試み、それを追究していく手段として実際に自分の目で見、耳で聞き、触れてみるフィールドワークを計画させる。その実践のなかで社会とのつながりを実感し、自己の存在意義を認識していくことで学ぶことの楽しさを体験し、自己学習力の獲得をめざした。

学年テーマ「いのちのネットワーク—生命と環境を考える—」という広義のテーマ設定はあったものの、生徒の個人研究テーマは、実に多岐にわたった。当初、特に本校附属中学出身者でないものの中には、個人研究に戸惑いや不安を感じている生徒もいたが、各自のテーマが決定するに従いそうした声は減っていった。多くの場合、同じような課題を追究する際にもできるだけ他の人と同じでないもの、個性的な研究にしようという傾向が強かった。

個人研究としたことで、従来の野外学習の、全学年同一コース、学年選択3コース、少人数（7・8人）グループと入った形態はとらぬこととなった。これまでの特定の理科社会の教科担当者一人ではなく学年団7人で取り組むとはいえ、120人一人一人のテーマに十分に対応できるかという問題があったが、それ以上に生徒一人一人の目的意識への働きかけや自己学習力を重視することとした。一学期の個人研究テーマの

決定から夏休みの事前学習や予備フィールドワークなどの生徒の活動をふまえ、野外学習当日の訪問先は、一人でもグループでも可とした。(実際に一人で訪問した生徒は120人中32人、4分の1に達した。)

実際の生徒の活動は次ページからの報告書、授業プリントで紹介する。

野外学習当日の訪問先は120人で午前午後のべ96ヵ所にのぼった。これまでと異なり、訪問先の決定も個人の責任において実施したため学校側でお膳立てするよりも全員の行程が決定するのに時間がかかった。

人と社会に学ぶフィールドワークを中心においた教科だといっても、実際に全員が学校行事として野外学習の計画に取り組むまでは、問題意識の高い一部の生徒だけが意欲的にさまざまな行事や講演に参加したり施設訪問、聞き取り調査をしているにすぎなかった。半ば強制的に野外学習先をリストアップさせ、電話で訪問依頼をさせることでやっと自分のテーマに対するアプローチの仕方が見えだしたと言える。なかには3ヵ所4ヵ所から続けて訪問を断られ、自分の目的意識の不明瞭さや社会の高校生に対する対応の厳しさを知った者もいた。その一方で、とても訪問させてもらえないだろうと思っていた機関がたいへん好意的であり、たった一人の生徒の場合でも時間を割いて対応して頂き、開かれた社会を知った者も多数いた。また、この過程の中で、個人研究テーマの設定の甘さを痛感して事前学習の必要性を認識しはじめ、テーマの再検討や問題の焦点を明確にすることを試みる生徒も多かった。

ただし、対人関係をうまく作れない一部の生徒や与えられないと自ら動けない生徒のなかには、訪問先への渉外にためらいを感じたり、指示がないと訪問先を見つけられずに、他の生徒についていくという受動的な者は存在した。これまでの野外学習ではそうした生徒の存在はグループの中に埋没して表面に現れない面があったが、個人研究のためにははっきりとクローズアップされた。また、一方では個人研究に固執し他と合入れなかったり(自分の開拓した訪問先へ似たテーマの生徒が一緒に行きたいと言っても受け入れない)、人と協力し合うことが苦手なためすべて一人で進めたいといった新たな問題点も浮かび上がってきた。(この点に関しては、高校2年の総合人間科ではグループワークによる学び合いを中心に展開し、学習させる予定である。) 障害者問題や国際比較を扱った生徒達は、それぞれ個別のテーマを設定しながらも3人～6人のグループで野外学習を実施し、お互いに役割分担や情報交換、研究協力をしながら展開できた。

野外学習後の報告会の感想や、実施報告書を見ると、まず訪問先への感謝の言葉がでてくる。わずか数

人の高校生のためにも資料を準備しかなりの時間を費やして説明・案内をと対応していただいた先が大部分であり(中には一人のために生物実験を用意していただいた研究室もあり)、書物では得られない多くの収穫があった。これまでの小グループや大グループでの野外学習でも実物・現場を見るという点では同じであるが、人と人との関係で見ればより緊密で自分の手で実施したという充実感は大きい。グループワークでは役割分担や研究討議など内容をより深く追求していく上でのメリットはいくつかあるが、力量のある生徒一人に任せる危険性も大きい。個人研究の場合は、自らの問題意識や関心意欲が問われ、主体的に取り組むことが要求される。この点では、一定の成果が得られ「野外学習はとてつもなく社会勉強になった。」「自分の未熟さがわかった。」「さらに調べたい問題が出てきた。」という生徒の声が聞かれた。

4. おわりに

野外学習の長年の歴史の中で、初めての個人研究の試みであったが、当初懸念された事故等もなく無事終了させることができた。

教員からみれば指導教官制で1人が約20人の生徒を把握するとはいえ、広範囲に展開されたため多数の目的を事前に訪問することは不可能であり、電話と文書での依頼のみで生徒を送り出すこととなった。事前の打ち合せを欠き、訪問先も見学の趣旨をつかみきれずに問い合わせが学校側にあったり、生徒の事前指導も日程や訪問マナーに追われ一人一人の研究内容について十分であったとは言えない。このような反省のもとに年間計画に余裕を持って野外学習に取り組むとより充実した実践となるであろう。

これまでの野外学習は社会や理科の教科時間やLTなどのクラスの時間をやりくりしての実施だっただけに一過性の行事であったが、今回の野外学習は総合人間科という1単位の授業の年間計画の中で、時間的な保障がされた。また、教科担任ではなく、学年閉全体で取り組めたことで可能になった展開であった。指導教官の負担が大きいという声もあったが、生徒が主体的に行動し、個人研究を推進するには今回のような柔軟な取り組みが必要であろう。

フィールドワーク実施報告書

1年 組番氏名 [REDACTED]

1) 実施日時 8/7(月) AM9:30~11:45

2) 実施場所 千種区役所 講堂

3) メンバー 一人

4) 内容 講演「ボランティア活動について」
 講師 名古屋社会福祉協議会 地域部 鎌相光太郎
 ・ボランティアスクール 修了証 授与
 ・グループワークの反省会 (質問の点、感想)

5) 感想
 ・全体を通じて6日間のボランティアスクールに
 全て参加した。特に私はこれをして、「という
 ほど、何かを成した。という感じがなかった
 有意義な時を過ごしたと思っております。
 今回の障害者や高齢者の社会福祉関係者に
 参加したことは、自分の周りにはよくない
 ことに違いない存在の方でした。しかし不思議
 に4日お付き合いして身辺の仲間のように
 思えるので、これからこの気持ちを忘れず
 優しく温かく迎えられる人間になろうと思
 います。
 今回の社会福祉関係者に生活する社会には
 いろいろあると思えました。
 障害者、老人に優しい社会は私にも、
 優しい社会であ
 りたいと思います。

フィールドワーク実施報告書

1年 組番氏名 [REDACTED]

1) 実施日時 7/25 26.31 AM9:00~PM4:00

2) 実施場所 若水投産所

3) メンバー 一人

4) 内容 知的障害者との交流、共に同じ時を過す
 ・100-1000の投産所で過ごす時間の中で
 一般社会で大人が働くように仕事をする
 仕事内容は簡単な作業(内職) 紙袋をつくる
 紙袋の大きさや色を種類、そして種類
 刺繍、知覚過敏はボールペンで→1ヶ月3000円の給料

5) 感想
 3日間実習して思うのは、障害者の生活は
 障害者、健全な人と同じ人間であり
 仲間として扱われて、接するべきだと思
 います。
 初のボランティアで緊張していたけれど
 投産所へ着いたとたん、みんなおはよう
 と迎えてくれた。一瞬は自分の目が
 眩しかった。仕事の内容、休憩の時は
 みんなで話しかけてくれて、
 手をつないで遊んで、あんなに
 ボールで遊んで、ハンカチを
 縫って、おしゃべりした。最初は
 単純な作業に慣れた。最初は
 疲れたけれど、3日間はずっと
 働いた。最後にみんなと
 一緒に写真を撮った。最後に一人一人
 の握手を、みんな握手する。
 社会で働くと思

フィールドワーク実施報告書

1年 組番氏名 [REDACTED]

1) 実施日時 7月25~27日

2) 実施場所 (社会福祉) 障害者、高齢者

3) メンバー HIA [REDACTED] HIB [REDACTED] と

4) 内容 <アンケート作り>
 ・大まかな内容を決め、いくつかの項目別に、
 ・平均表を元に協力してアンケート全文を要訣。
 ・日本語-分は → 秋山さんと大野さんが
 手伝って、アメリカへ持っていく実施。
 (→加藤さんが英語を輸入して)

5) 感想
 今回のアンケート作りは、自分たち
 自身で感謝しています。メンバーは
 自分たちの考えを、みんなに
 伝えていくことが、とても
 大切だと思えました。

4) 夏休みの活動をふりかえって(自己評価)

①良かった点
 メンバーのみんなと時間を
 一緒に過ごして、自分
 の考えを、みんなに
 伝えていくことが、
 とても大切だと思
 います。

②反省する点
 1日間の活動を、
 しっかりと振り返る
 ことが、大切だと思
 います。

③これからの課題
 日本語のアンケートは、
 外国から集めるに
 ついて、課題がある
 と思います。

④感想
 今回のアンケート作りは、
 自分たち自身で感謝
 しています。メンバー
 は自分たちの考えを、
 みんなに伝えていく
 ことが、とても大切
 だと思えました。

5) 報告会を聞いて/感想
 (みんなの報告を聞いて、
 自分たちの活動が、
 みんなに伝わった
 ことが、とても大切
 だと思えました。)

夏休み活動報告会

7月1日の第6回総合人間科の時間に夏休み活動実施計画書を作成しました。個人研究テーマをより具体的にするために、本をじっくり読もう、知り合いの人に話を聞いてみよう、実際に工場などを訪ねて見学してみよう、地域の人たちとともに行動してみよう…… いろいろなる方針をたてたと思いますが、どれぐらい実行に移せたでしょうか。少し調べてみたらからえって迷いがでてきたり、テーマの再検討となった人もいます。少し調べた方がいいのか足踏み状態の人もいます。少しいい経験をして研究が面白くなってきた人も、どんどんアイディアが浮かんできている人もいます。調べたこと、感じたこと、今回の報告会では、仲間の夏休み中に経験したこと、調べたこと、考えたこと、真剣に耳を傾け、これからの活動の参考にしていきたいでしょう。

場 所 ; 長谷川グループ/H1A 大口グループ/H1B
 横本グループ/生物教室 米田グループ/音楽教室
 滝口グループ/美術教室 平松グループ/H1C
 飯島グループ/第二体育教官室

- 1) 夏休み活動報告
 - ・ テーマとねらい
 - ・ 活動内容 文献調査や読書記録
 - ・ フィールドワーク
 - ・ 活動を通して感じたこと、考えたこと、学んだこと
 - ・ 問題点 (困っていること、むずかしいこと)
 - ・ 今後の展開予定
- 2) 野外学習 (11月16日) に向けて
 - ・ 訪問候補地のリストアップ (5・6カ所あげてみよう →折衝後2カ所程度にしぼる)
 - ・ メンバーの検討

- 今後の予定
- 第9回 (9月30日) 野外学習実施計画作成 (第1回)
 ↓ 訪問先への交渉/決定
 - 第10回 (10月7日) 野外学習実施計画作成 (第2回)
 タイム・スケジュール
 事前研究
 質問項目検討
 質問項目検討
 - 第11回 (10月26日・木) <11月4日と振替>
 野外学習実施計画発表会 (第1回)
 - 第12回 (11月2日・木) <研究協議会>
 野外学習実施計画発表会 (第2回)

野外学習実施計画 (1)

2学期の大きなイベントである学校祭が終了しました。HR企画では一人一人のエネルギーを結集し、気持ちの良い汗をかいて、みんなで作ったものを作り上げる楽しさや大変さを実感したのではないのでしょうか。

さて、次は11月16日に予定されている野外学習にむけて、気持ちを新たに真剣に取り組んでいきます。きちんと目的を持って、計画的に準備をすすめることにより、より多くのものを得ることができそうです。前回の夏休みの活動報告会では、いぶふん人によって実施状況が異なっていました。今まで十分な活動ができなかった人達はこれから少しピッチを上げて準備をすすめてみましょう。さまざまな場での人との出会いから自分を見つめ、社会を見つめ、自然を見つめ、歴史を見つめ、未来を考えていきます。

<本日の予定> 指導教官グループ別

場 所 ; 長谷川グループ/H1A 大口グループ/H1B
 横本グループ/生物教室 米田グループ/音楽教室
 滝口グループ/美術教室 平松グループ/H1C
 飯島グループ/第二体育教官室

内 容 ; 1) 個人研究テーマの確認

目的を明確に

2) 訪問候補地のリストアップ

参考資料 : 過去3年分の野外学習訪問先リスト
 電話帳 (タウンページ)

注) ①訪問可能かどうかわからないので

第1希望だけでなく5・6カ所候補をあげる

②できるだけ公共性の高い場所を選定する

ex, 県庁、市役所、税関、保健所、裁判所、警察
 (対応が親切、資料などが手にはいる)

③役所関係は、担当部署を確認

④場所の確認 (通学圏内の範囲/愛知県内)

当日の交通費は自己負担

3) メンバーの検討

できるだけ数人のグループで行動しよう

注) 今回提出された訪問先希望を見、他の指導教官グループの人との共同研究を検討

4) 質問内容の検討

訪問の可能性

訪問の条件 (時間・人数・引率者など)

注) 正式の依頼は後日メンバーや日程がたまたまから

問い合わせる時は礼儀正しく

7) 訪問候補地リスト

| 目的地 | 連絡先 | 調査項目 (質問項目) |
|-----|-----|-------------|
| ① | | |
| ② | | |
| ③ | | |
| ④ | | |
| ⑤ | | |
| ⑥ | | |

訪問候補地への問い合わせ

- ① 複数の人が希望している機関についてはまとめて代表者または学校から問い合わせをします。指導教官の指示を受けてから行動して下さい。
- ② 問い合わせをする場合は自分の所属(名古屋大学附属高校1年)と目的(野外学習であることと研究テーマ)をきちんと伝えること。
- ③ 訪問先の担当者の方の所属とお名前、FAXの番号を確認すること。
- ④ 見学に必要な手続き(訪問依頼書など)と条件(時間・人数など)を確認すること。
- ⑤ 10月7日に具体的な日程作成ができるように、1週間で訪問先を午前1カ所、午後1カ所程度にしぼり込むこと。

1995/9/30

第9回 高校1年総合人間科 いのちのネットワーク
1年組 番氏名

野外学習実施計画 (1)

1) 研究テーマ

(指導教官)

2) 研究のねらい

3) 研究方法

4) 野外学習メンバー希望調査/氏名と研究テーマ
(自分と異なる指導教官グループの人でもテーマが近い場合
同じグループとなることも検討)

5) 野外学習実施計画をたてる際の疑問点・問題点

6) 事前準備予定 (文献調査→質問内容の検討、意識調査の実施など)

野外学習実施計画 (2)

先週の訪問候補のリストアップから、今回は具体的な日程案の作成に入ります。中間テストをばさんで、10月26日には実施計画の報告会を行いますので、早く日程を決め、事前研究に取り組んで下さい。ただ訪問だけするのではなく、各自の個人研究テーマについてしっかりと学習の後に目的意識を持って臨みましょう。26日には、訪問先へ送る依頼書(研究の目的や、調査内容、質問事項、これまでの研究内容)も作成する予定です。一方的に訪問先からの説明などを聞くだけでなく、自分達が学習してきたことを紹介したり、これからの学習方法のアドバイスなどが受けられるように準備しましょう。野外学習の日1日だけが研究ではなく継続した活動を心がけて下さい。

< 本日の予定 > 指導教官グループ別

| | | |
|-----|----------------|-------------|
| 場所: | 長谷川グループ/H1A | 大口グループ/H1B |
| | 榎本グループ/生物教室 | 米田グループ/音楽教室 |
| | 滝口グループ/美術教室 | 平松グループ/H1C |
| | 飯島グループ/第二体育教官室 | |

* 野外学習グループ編成について

行き先により複数の指導教官にまたがる人達のグループの調整を行います。次にあげる候補地を希望する人は、3時間目はまず指定された先生の教室に行き、指導を受けた後、指導教官の所へ戻って下さい。
訪問先への交渉はグループ単位で行いますので責任を持って自分の役割を果たして下さい。

| | | |
|------------------------------|-------|----------------|
| 名古屋大学心理学/教育心理学教室 (田畑校長先生を含む) | ----- | 長谷川先生 (H1A) |
| 病院 (ガン) | ----- | 長谷川先生 (H1A) |
| 病院 (内科・神経科・外科) | ----- | 米田先生 (音楽室) |
| 保健所 | ----- | 飯島先生 (第二体育教官室) |
| 県庁/市役所 | ----- | 榎本先生 (生物室) |
| 養護学校 | ----- | 榎本先生 (生物室) |
| 国際センター | ----- | 平松先生 (H1C) |
| 弁護士事務所/裁判所 | ----- | 平松先生 (H1C) |
| 老人ホーム | ----- | 大口先生 (H1B) |
| 民俗学関係 | ----- | 滝口先生 (美術室) |

野外学習計画書の作成について

- 1) 野外学習日提案作成 (タイムスケジュール)
 - ・訪問予定地から内語を受けている人は具体的に、まだ確認できていない人は複数の案を検討すること
 - ・訪問先の場所、行き方、所用時間の確認
 - ・待ち合わせの時間と場所
 - ・緊急時の連絡方法
 - ・屋敷場所 (弁当持参が原則)
- 2) 学習内容の検討
 - ・各訪問地での質問項目
 - ・事前学習 (必ず行って下さい)
 - ・グループの役割分担 (個人研究ですが、グループで行動する場合は代表者、カメラ係、録音係など分担して下さい)
- 3) 指導教官との打ち合わせ
 - ・引率の有無
 - ・今後の活動計画 (一人よがりにならないこと)
 - ・当日の連絡方法
 - ・訪問先でのマナー

*訪問先が未定の人は早急に決定すること
 締切 10月12日 (木)
 試験週間に入ってしまいます。一人一人が主体的に取り組むこと

注意) ①フィールドワークの目的は「人や社会から学ぶ」です。図書館での文献調査や一般の人へのアンケート調査は事前研究としてまとめ、資料として利用して下さい。当日はできるだけ「現場」を見、体験するようにしましょう。
 ②博物館・資料館・科学館などへは、ただ一般見学コースに行くのではなく、学芸員の人などへアプローチして説明をしていただくようお願いしましょう。
 ③今一度自分の研究テーマを検討し、自分の言葉で語ることでできる内容にしていこう。(自分が理解できない専門用語などを本から引き写すだけのような研究はやめよう)

総合人間科では、最後の論文のみで評価するのではなく、研究の過程 (どれだけ考え、体験したか) をフィールドワークの実施状況や事前研究の進め方から判断していきます。また、日常生活での行動の変化も重要な評価の対象です

調査項目・質問項目

| 第1訪問先: 愛知陸運支局 | 第2訪問先: [X] |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| 住所 中川区北エ1-1-2 | [X] |
| 担当者 車両課 川島林 | 担当者 [X] |
| 質問項目 | 質問項目 |
| 1 全国及び愛知県の 車両台数 | 1 陸運支局の車両台数 |
| 2 法律で定められている排 気規制の概要 | 2 排気規制に起因する規制の 概要 |
| 3 車検の意味(2年に一度も 検査しない場合 の罰金) | 3 自動車検査の意味 |
| 4 旧車検制度と 新車検制度の違い | 4 車の性能(エンジン)の理由によ って検査車種分けの理由 |
| 5 1年ごとまたは検査済 まらなければならぬ車 種について | 5 なぜ自動車検査と排気検査 を分けるのか |
| 6 運輸省の検査制度の概 況 | 6 排気検査以外の検査項目 の概要 |
| 7 排気以外の法律で定めら れている規制事項 | 7 どのような証明を受けるのか |
| 8 車検でとれた17の車が合格 しなかった原因 | 8 規制を免れたい車種はどの 程度あるのか |
| 9 合格にない車の理由 | 9 なぜ有効期限一年の車検で ない車種があるのか |
| 10 エンジン車検についてよく わかるように | 10 検査項目 |

中日新聞社 様

私達 名古屋大学 教育学部 附属 高校 1年生は、今年テーマ
「いのちのネットワーク — 生命と環境を考えたのと生活
一人一人が 研究テーマを設定し 調査研究を行う『総合
人間科』の学習をすすめています。
今回の野外学習では お忙しいなか 私達の訪問を
受け入れていただき、ありがとうございました。みなさんの授業での
授業や資料からでは 得られない貴重な生きた学習の機会に
したいと思っております。 よろしくお願ひします。

テーマ: Media と 環境

目的: 普及 自分達が かわかっている Media と 環境の
かわかりを知る

質問事項

1. 貴社では 環境問題について 何か取り組んで
みえる事がありますか
2. 新聞で 環境問題を 取り上げる コーナーは 設けて
ありますか
3. 新聞(朝刊)部 制作の 水とのかんじょう紙を使用しますか

論文執筆 共々 お願いいたします。

名古屋大学教育学部附属中 都市開発課 様

私達 名古屋大学 教育学部 附属 高校 1年生は、今年テーマ「いのちのネットワ
ーク 生命と環境を考えたのと生活 一人一人が 研究テーマを設定し 調査研究
を行う『総合人間科』の学習をすすめています。
今回の野外学習では、お忙しいなか、僕らの訪問を受け入れていただき
ありがとうございます。みなさんの授業での 授業や資料からでは 得られない貴重な生きた
学習の機会にしたいと思っております。 よろしくお願ひします。

僕らのテーマ 「未来の都市計画」

質問事項

1. 名古屋の都市開発は どのような規模で行われているのか。
2. 都市開発課には どのような専門家が いるのか。
3. 都市開発課の 業務は どのような業務を行っているのか。
4. 都市開発課において 特に 重要視している業務は どのような業務なのか。
5. 地域にやさしい環境とは 具体的に どのような環境なのか。
6. 身体障害者の方のための 都市開発について、どのような業務があるのか。
7. ゴミ処理のことで、何か優先すべき点や 課題は ありますか。
8. 姉妹友好都市は、都市開発とは どのような関係にあるのか。
9. 姉妹友好都市とは、どのような関係の都市なのか。
10. 百年後の名古屋は、具体的に どのような姿になるのか。

名古屋大学教育学部附属中 総務課 高蔵様

この前は突然の台風で 大変迷惑しました。突然にも関わらず
私の訪問依頼を受け入れていただき 本当にありがとうございます。今回
活動目的を理解していただくため 訪問依頼書及び質問書として
書状を送らせていただきます。

私達 名古屋大学 教育学部 附属 高校 1年生は、今年テーマ「いのちのネットワ
ーク 生命と環境を考えたのと生活 一人一人が 研究テーマを設定し 調査研究
を行う『総合人間科』の学習をすすめています。
今回の野外学習では、お忙しいなか、私達の訪問を受け入れていただき
ありがとうございます。みなさんの授業での 授業や資料からでは 得られない貴重な生きた学習の
機会にしたいと思っております。 よろしくお願ひ致します。

訪問依頼 質問

日時 平成7年11月16日(木) 1000時~1200時(予定)

目的(内容) 気象について

質問事項 気象台(気象庁)の役割と業務内容について

- ・ 各気象予報の 良い点と悪い点
- ・ 今年の少ない台風発生に 関する 見解と過去のデータとの関係
- ・ 近年、果敢気象の 存在理由は何なのか?
- ・ 気象業務法の改正について 認識者リストを見た
- ・ 各種気象予報の 観測項目を知りたい
- ・ 気象予報の 観測項目を知りたい
- ・ 気象予報の 観測項目を知りたい
- ・ 気象予報の 観測項目を知りたい

名古屋大学教育学部附属高校 1年

野外学習実施計画報告会

指導教官別

場 所；長谷川グループ/H1A 大ログループ/H1B
 榎本グループ/生物教室 米田グループ/音楽教室
 滝ログループ/美術教室 平松グループ/H1C
 飯島グループ/第二体育教育室

<本日 の 予定>

5時限 野外学習最終打ち合わせ

- ①訪問依頼書(質問状)の完成・発送 <確認>
- 訪問先の住所・電話番号・担当者の名前をきちんと指導教官に報告
- ②タイムスケジュールの決定 集合時間・場所

居食場所

移動方法・時間の確認

*問題点があれば討議

6時限 野外学習実施計画報告会

- ①11月2日の研究協議会発表者の報告
 グループ内で発表内容・方法などアドバイスを
- ②グループ全員の実施計画の報告と検討
 研究のねらい
 (訪問先できちんと話す練習です。
 自分の訪問意図を明確に伝えることができますか?)
 質問事項のチェック

*グループの人みんなで協力して
 訪問先での発言・行動について助言しあいましょう

<今後の予定>

- 11月2日(木) 研究協議会 公開授業
 「人と社会から学ぶフィールドワーク」
- 11月9日(木) 6限 LT 野外学習のマネージャーについて
- 11月16日(木) 野外学習 当日
- 11月18日(土) 総合人間科 お礼状作成 野外学習実施報告
- 12月7日(木) 野外学習実施報告会 (文部省視察)

野外学習にむけて

野外学習まで1週間となりました。事前研究は進んでいますか? きちんと自分の研究テーマを述べ、研究目的を明確にして実り多い学習にしていきたいと思います。
 訪問依頼書と一緒に送った質問状の内容を再度チェックし、言い足りなかったり漠然としていたところは当日言葉で補って下さい。貴重なお仕事の時間をさいて対応していただくのですからそれによって前向きな姿勢で臨みましょう。

※訪問のマネー

- 1、時間厳守 約束した時間に遅れないこと
 グループで事前に打ち合わせを必ずすること
- ①余裕を持って集合時間を設定
 (市役所や県庁などはそこから各部署まで行くのに結構時間がかかる)
- ②交通機関・所用時間・最寄りの駅からのルートを必ず確認
 (地図で確認すること)

*もし、非常事態で時間に遅れそうな場合は必ず電話で連絡をいれること
 訪問先と連絡がとれず困った場合は学校に連絡する

- 2、挨拶をしっかりしよう
 「おはようございます」「こんにちは」「おねがいします」
 当たり前のことですが、言葉使いに気をつけ、はっきりと話しましょう。
 ①最初に訪問を受け入れていただいたお礼を
 ②学年・学年・名前をのる
 ③担当者の方から名刺をいただく(後日お礼状を書くため)

- 3、みだしなみ
 相手の方に不快感を与えないように当たり前の格好をして下さい
 ①制服; 本来の美しい着方をすること
 スボン・スカートの丈、ブラウス、リボン
 校章
 ②アクセサリーをつけない
 ピアス、指輪、腕輪
 ③化粧をしない
 マニキュア、リップクリーム、眉毛
 ④菓子類を食べない(ガム、飴など)
 訪問先への道中での行動にも注意

- 4、持ち物
 ①学習に必要なもの; 筆記用具、録音用テープレコーダー、カメラなど
 ②生徒手帳(身分証明書になります。必ず持参する)
 ③弁当(居食場所を確認しておくこと)
 道中、飲食店などへの立ち寄り(禁止)

平成7年11月9日

平成7年度 高1 野外学習実施要

1. 目的 学年テーマ「いのちのネットワーク-生命と環境を考える-」のもと、生徒一人ひとりが研究テーマを設定し、調査、研究を行う『総合人間科』の学習を深める。
2. 期日 平成7年11月16日(木) 雨天決行
3. テーマ 別紙参照
4. 訪問先 別紙参照
5. 引率指導 教官 飯島、長谷川、橋本、滝口、平松、大口、米田
6. 費用 交通費(実費)
7. 参加生徒 高1全員(男子 51名、女子 70名 計121名)
8. 集合 現地(テーマ、訪問先等で別に定める)
9. 解散 現地(")
10. 服装 制服
11. 注意事項
 - ア・筆記用具等、学習に必要なものを持参する(テレコ、カメラ等)
 - イ・各自交通費を用意する
 - ウ・各自弁当を持参する
 - エ・訪問先、移動時におけるマナーの徹底(挨拶の励行、時間厳守等)

高校1年総合人間科 いのちのネットワーク
野外学習実施要十画(指導教員別)

1995/11/9

1) 長谷川グループ

| 組番 | 氏名 | 研究テーマ | 午前 | 午後 |
|------|--------|-------------------|------------------|----------|
| A/1 | 浅井 周嗣 | 犯罪心理学 | 裁判所 | 名古屋矯正管区 |
| A/41 | 陳尾 健一 | 犯罪心理学 | | |
| B/16 | 若松 徹 | 犯罪について | | |
| C/25 | 京田 麻野 | 殺人者の心理 | | |
| C/34 | 船橋 延江 | 子どもの心理 | 名大(教育心理) | フリー・スクール |
| A/19 | 安達 朋美 | ストレス | 市教育センター 教育相談室 | 家庭相談所 |
| A/23 | 大野 未貴 | 日本人のストレスについて | | |
| A/37 | 溝口 麻美 | 結婚 | | |
| A/38 | 三ツ口 裕子 | 人の幸せについて | 老人ホーム | 瀬戸寮 |
| C/37 | 村松 未帆 | 結婚 | | |
| B/14 | 皆川 太郎 | EROS-人を愛ふること愛すること | | 東山会館 |
| C/27 | 杉浦名美子 | 性 | 名大(教育心理) | 裁判所 |
| C/35 | 堀 后倫樹 | 恋愛の心理 | | |
| B/11 | 谷口 匠 | 命を懸けるもの-誰か為に死す- | | 東別院 |
| B/29 | 工藤 裕美 | 人間の心理の変化(宗教) | | 熱田神宮 |
| A/4 | 加藤 雄三 | 精神病理学 | | |
| C/33 | 藤田 真弓 | 自殺者の心理 | 中京病院 | 名大(教育心理) |
| C/36 | 宮野 愛 | 人種差別・身近な差別 | 国際センター | 裁判所 |
| C/39 | 山口いずみ | 超ウソツキ人間ペラペラちゃん | 裁判所 | 名古屋科学館 |

1995/11/9

高校1年総合人間科 いのちのネットワーク

野外学習実習が毎書十画 (指導教官別)

3) 滝口グループ

| 組番 | 氏名 | 研究テーマ | 午前 | 午後 |
|------|-------|----------------|----------------|-----------|
| A/26 | 黒須 三澄 | 日本の行事・文化から | 東別院 | 熱田神宮 |
| B/39 | 野田 直子 | 昔と今の日本人の考えの違い | 徳川美術館 | 北国書館 |
| A/29 | 田中 佑果 | 柴式部 | YWCA | 愛高教高橋委員長 |
| A/35 | 三浦加奈子 | 朝鮮従軍慰安婦について | 国際センター | 裁判所 |
| C/18 | 浅井 満美 | 黒人の差別問題 | 名古屋養護学校 | 市役所 施設課 |
| C/19 | 浅井 里香 | 障害者施設 日本とアメリカ | 名古屋養護学校 | 高蔵幼児園 |
| C/31 | 長田 英里 | ルールとマナー 日常生活から | 服部剛丈君 宅 | 名大法学部平川教授 |
| C/28 | 鈴木 恵子 | 死刑について | 骨髄移植支援の会 | 骨髄移植センター |
| A/20 | 網屋佳代子 | 「移植」～贈られた「命」～ | CAGI DUE (時計店) | 杉浦時計店 |
| B/26 | 尾崎 志穂 | 「時計」 | 千種保健所 | 可世木産婦人科医院 |
| B/27 | 小沢 涼子 | 「生」と「死」の区別 | 碧南市民病院 | 名大病院脳神経外科 |
| B/36 | 鈴木 陽子 | 「生」と「死」～脳死より | 千種保健所 | 衛生協病院 |
| B/37 | 高見沢麻子 | 解明されない私たちの「脳」 | アリスクリニック 眼科 | |
| C/29 | 高山 百栄 | 近視 | 日映画連菊川氏宅 | シネマテーク |
| A/14 | 本間綾一郎 | 映画の「力」～戦争映画にみる | 東宝 宣伝部 | シネマスコール |
| A/24 | 小椋 美智 | 映画館の役割 | 磯の16歳一自立一 | |
| C/1 | 青山 昌史 | 宮崎駿一宮崎駿と空一 | 生命維持装置 | 港共立総合病院 |
| C/40 | 山田まいね | 生命維持装置 | 盲導犬 | 名古屋盲学校中村氏 |
| A/27 | 近藤 弥生 | 盲導犬 | | |
| B/34 | 佐藤有希子 | | | |

1995/11/9

高校1年総合人間科 いのちのネットワーク

野外学習実習が毎書十画 (指導教官別)

2) 柳本グループ

| 組番 | 氏名 | 研究テーマ | 午前 | 午後 |
|------|-------|-------------------|-------------------|-------------------------------|
| A/9 | 柴田 浩陸 | オゾン層破壊による地球への影響 | 県庁環境部 | 公害対策局 |
| B/2 | 小野寺忠治 | 大気汚染について | 大気保全課 | 総合監視センター |
| B/8 | 柴田 裕章 | 環境一気象について | 名古屋気象台 | 柳上の森 |
| B/15 | 吉原 勇気 | 遠い未来の地球人 | 市役所都市計画課 | 名古屋市科学館 毛利氏 |
| C/21 | 有木さくら | 宇宙一万物の母一 宇宙と人類 | 名古屋市科学館 | |
| B/20 | 今井 朋子 | 海外青年協力隊の活動 | アジア医療研修センター (AHI) | 国際協力事業団 (JICA) 東海支部 名古屋研修センター |
| B/25 | 奥田 摩耶 | シンガポールのオモテウラ | 名大農学部(実験) | 県総合農業試験場 |
| B/28 | 木村 奈美 | ささやかな南北問題 | 県庁 愛知万博誘致 推進氏 | 海上の森 ものみ山自然観察所 岩井氏 |
| C/2 | 大浦 雄介 | 人の生活と生命工学の未来 | 名古屋養護学校 | サマリヤハウス |
| C/6 | 小林 大介 | 人間と自然環境破壊、種の絶滅 | | |
| C/17 | 渡邊 奈 | 「森」一ドライブ一アードの営み一 | | |
| A/22 | 伊藤麻衣子 | 身体障害者とお年寄りのサービス | | |
| A/33 | 服部 夏季 | 障害児・障害者と共に | | |
| C/20 | 安達 仁美 | 共生一知的障害者と共に | | |
| C/23 | 石橋 優弥 | 学習障害児 (LD) について | | |
| C/26 | 後藤久美子 | みんなに優しい社会 | | |
| C/32 | 原 隆子 | 障害者一被災者へのボランティア活動 | | |
| B/21 | 岩室 有里 | ボランティアを通して学ぶもの | | |
| B/22 | 及川 恵 | 社会の中の障害者 | | |
| B/30 | 小崎 裕美 | ボランティア一障害者を知る | | |

高校1年総合人間科 いのちのネットワーク 1995/11/9

野学習実が富十国 (指導教官別)

5) 平松グループ

| 組番 | 氏名 | 研究テーマ | 午前 | 午後 |
|------|-------|------------------------|-----------|----------|
| A/2 | 伊藤 真毅 | 国際政治について | 「服部剛丈君」宅 | 裁判所 |
| B/12 | 服部洋一郎 | 銃規制 | | |
| A/18 | 秋山 知美 | 日本人と外国人の意識や考え方 | 南山大学留学生別科 | 国際留学生会館 |
| A/25 | 加藤 三奈 | 日本人を知る | | |
| B/23 | 大野 里実 | 日本と外国の環境と教育 | | |
| B/3 | 片出 幸 | 日本と諸外国の文化の違い | アジア保健研修セン | 日進市国際交流協 |
| A/7 | 川端 亮平 | 「盛」 | 県がんセンター | 名大医療技術短大 |
| B/31 | 小林 史幸 | Mediaと環境 | 中日新聞 | 東海テレビ |
| B/1 | 井上 貴道 | けた | | |
| B/6 | 川田 寛人 | 「力」 | | |
| B/13 | 兵藤 広弥 | 人と内燃機関 | 愛知陸運局 | 産業技術記念館 |
| C/4 | 笠岡 高広 | F1について | | |
| A/16 | 森田 俊祐 | 国家の危機管理 | | |
| C/9 | 富永 一正 | 兵器-原爆からサリンまで- | 自衛隊 | 徳川美術館 |
| C/30 | 折谷 綾香 | Arms and Amous~ハタリ-の世界 | | |
| A/28 | 嶋田 愛 | 身近なきまり | 弁護士事務所 | 裁判所法廷見学 |
| A/40 | 渡辺 順子 | 家庭の法律 | | |
| B/19 | 伊藤 宏美 | ブランドについて | | |
| B/40 | 浜 ひかり | ブランドについて | 松坂屋 | 名古屋税関 |

高校1年総合人間科 いのちのネットワーク 1995/11/9

野学習実が富十国 (指導教官別)

4) 大口グループ

| 組番 | 氏名 | 研究テーマ | 午前 | 午後 |
|------|-------|-----------------|-------------------|------------------|
| A/12 | 水瀧 博通 | 人間の性とエイズ | 医療事故情報センター | 名古屋市衛生局 保健予防課 |
| A/15 | 町田 晋也 | エイズによる悪夢 | | |
| A/34 | 堀 久美 | AIDS~生命のブラックホール | 弁護士会館 間瀬弁護士 | |
| B/33 | 佐藤 春香 | エイズ-社会的問題- | | |
| B/35 | 澤田実樹子 | エイズ-HIVとは何か- | | |
| A/39 | 藤 純子 | ホット・ゾーン | 検校所 | 市生活衛生センター |
| C/12 | 藤田 常 | レベル4のウィルス | | |
| C/14 | 松永 精志 | 寄生虫 | | 市衛生研究所 |
| A/6 | 河合 修 | 警告を受けた人の心理 | 県がんセンター | 名大医療技術短大 看護学科 |
| A/8 | 後藤 正照 | 癌・第2章・<治療> | | |
| C/8 | 棚瀬 潤一 | 身近な病気と薬 | 市薬剤師会 生活化学センター | 県庁衛生部業務課 |
| C/16 | 吉田 光兵 | 薬の副作用について | | |
| C/24 | 川瀬 智恵 | 身近なウィルスについて | 天白保健所 | |
| A/11 | 成瀬 孝広 | 子供 | 市教育センター | 家庭相談所 |
| A/30 | 松植 明子 | 老人をサポートする制度 | 老人ホーム 八事苑 | |
| C/15 | 山岸 裕介 | 痴呆症 | 特別養護老人ホーム | 老人医療岡田病院 |
| B/18 | 石川 貴恵 | 人とのふれあい~その時人は | 名大教育学部 | |
| C/22 | 石原 寛子 | ホームレスについて | 市役所緑地管理課 | 福信館 |

高校1年総合人間科 いのちのネットワーク 1995/11/9

野外学習実地計画(指導教官別)

ア) 飯島グループ

| 組番 | 氏名 | 研究テーマ | 午前 | 午後 |
|------|-------|-----------------------|-------------|------------|
| A/5 | 神谷 明 | 体の中の悪いヤツ～心臓編～ | | 名大 |
| B/5 | 門野 光宏 | 肺と運動量のつながり | 愛知医大 | 保健体育センター |
| B/10 | 只井 秀明 | CONCENTRATIONAL POWER | | |
| A/17 | 山本 理紀 | 人にとって睡眠とは | | 名大(教育心理) |
| A/21 | 石川あかね | 人体～自然治癒力の働き～ | 中京病院 | |
| B/7 | 小島 秀崇 | 骨について | | はちや整形外科 |
| B/24 | 阿島 秋 | 喫煙者とその周りの人 | 県がんセンター | JT |
| C/3 | 大鹿 真功 | No Smoking | 千種保健所 | 可世木産婦人科医 |
| B/32 | 柳之丸昌子 | 誕生 | | |
| C/5 | 飯谷 晋穂 | 学歴社会 | 千種警察署 | 会社訪問 |
| A/3 | 岩田 光洋 | スポーツと人のつながり | 市立スポーツ振興事業団 | スポーツ情報センター |

高校1年総合人間科 いのちのネットワーク 1995/11/9

野外学習実地計画(指導教官別)

イ) 米田グループ

| 組番 | 氏名 | 研究テーマ | 午前 | 午後 |
|------|-------|----------------|-----------|----------------|
| A/31 | 戸辺絵梨子 | 環境～自然と共存できた過去～ | 弁護士事務所 | 名大(教育心理) |
| A/36 | 三瓶 陽子 | 食品添加物について | 千種保健所 | 生協生活文化会館 |
| B/17 | 浅井 雅子 | 米 | 農林省食糧事務所 | 名古屋食販協組 |
| B/38 | 寺西 紀子 | 成人病(糖尿病) | 中京病院 | 可世木産婦人科 |
| A/10 | 鈴木 久貴 | スポーツ医学 | 名城グラウンド | 名大 保健体育センター |
| C/13 | 松川 哲也 | スポーツと食べ物について | | |
| A/32 | 庭瀬ひろみ | 日本と外国の食生活の違い | 国際センター | 裁判所 |
| C/38 | 山上 慶子 | 各国の気候と食生活の違い | | |
| B/9 | 庄司 美 | 水(とその周辺の生態系) | 瀬が岡 平和公園 | 名古屋港水族館 |
| C/10 | 野村 佳史 | 動物とのふれあい | 県庁愛知万博誘致係 | 下水科学館 |
| C/11 | 平田 謙 | 人と水 | | |
| B/4 | 加藤 康則 | 尿について | TOTO | 名大工学部 加藤先生 |
| C/7 | 佐藤 忍 | 「尿」について | | |
| A/13 | 広田 明彦 | 音楽と人 | ジャズドラマー | 作曲家 栗本氏 |

第13回 高校1年総合人間科 いのちのネットワーク 1995/11/18

野 外 学 習 報 告

11月16日の野外学習では何を学び、何を考えることができたでしょうか。「百聞は一見にしかず」「Plian Do See」は実践できたでしょうか。活字から得る知識とは一味違った体験から多くのものを得てきたこととしたいと思います。忙しい時間をさいて対応して下さった方にきちんとお礼を述べるとともに、この野外学習から見たものを生かす行動を今後の課題にしていきましよう。そのためにもしっかりと見聞きしたことを記録し、各自の研究テーマをこの先どのように進めていくか計画を立てて下さい。野外学習は研究の一段階です。これを出発点としてよりテーマを深く追求していき、自分自身の成長の糧としていきましよう。

指導教官別

場 所 ; 長谷川グループ/H1A 大ログループ/H1B
 榎本グループ/生物教室 米田グループ/音楽教室
 滝口グループ/美術教室 平松グループ/H1C
 飯島グループ/第二体育教官室

<本日の予定>

第3限 訪問先への礼状書き
 各訪問先へ一人一通ずつ(グループでまとめて発送します)

〔内容〕当日のお礼
 どのようなことを感じ、何を学んだか
 今後の研究にむけて

第4限 野外学習報告書作成
 (各自、訪問先ごとにB4の報告書一枚)

12月7日に野外学習報告会を行います。訪問先で学習してきたことだけでなく、各自の研究テーマのねらいと今後の計画を合わせて話してまいりますので、単なる記録ではなくきちんと内容を整理して下さい。また、訪問先で印象に残ったことなど感想や、今後フィールドワークを実施する時に注意すべき問題点・反省点もあげてみましょう。

*写真・資料などがあれば報告会までにまとめておくこと
 (注) 11月24日から期末テスト一週間前になります。
 その前にきちんと野外学習のまとめは終えて下さい。

提出期限：お礼状 本日中
 報告書 11月20日(月)まで

名古屋市科学館 服部 完治様

先日は忙しい中私達の野外学習「いのちのネットワーク」で訪問させて頂き有難うございました。
 私達の質問に答えて下さり、天上、貴重な御意見も拝読させて頂き大変勉強になりました。
 宇宙と人類 というのが私のテーマでしたが、お礼からこのことを考えるに於て自分の勉強不足をいよいよ感じています。今の私には、大過ぎるテーマだとおぼやかる得ませんか。私なりに考えたことを書かせて頂きます。
 遠い未来の話に見えていた。地球の資源不足などが今日の前に——もう始まっていますか——あ、でも私の生活は余り変わっていません。
 リサイクル運動など、何か地球の役に立つことと、思っても結局積極的な参加はできませんでした。
 今自分が特に感じているのは先に述べたように勉強不足です。そして今一番それを何とかしたいと思っております。
 環境保護運動などもとても大切だとは思いますが、将来、宇宙に対する自分の意見を求められた時、また自分の能力のなさを感ずるのはイヤなんです。
 だから私は、今までよりも、と勉強しようと思っております。
 出、かく、服部さんの御話を聞かせて頂いたのに、私の考えは的外れなのかおぼやかる、お礼を頂くと、お礼を御許して下さい。
 それでは、本当に有難うございました。季節の変わり目です、御体に気を付けて

名古屋大学教育学部附属高等学校1年

サフラン生活園様

先日はお忙しい中 私たちのために時間を作っていただきありがとうございます。とても貴重な体験ができたと思っております。

私は午前中に、下請けの作業をやらせていただいたのですが、正直いって、初めは、恐怖感があり不安でした。どんなことを 障害を持っている人たちに 話せばいいのかわからず、迷惑ではないか などと、私の頭の中で、いろいろ考えていて、なかなか言葉が出てきませんでした。しかし、すぐに、そんなことを考えなくていいかと思えました。障害を持っている人の方から、「こんにちは」といってくださりニコッと笑ってくれたり、握手を求めてきたりと、私を歓迎してくたように感じ、うれしかったです。

梅津さんや戸田さんがおっしゃっていたように、ボランティアや福祉活動には「いあげろ」という気持ちではなく「一緒に楽しむ」という気持ちが必要だと思いました。また、相手をよく知るということも大切なことかわかりました。障害を持っている人も、持っていない人も変わらないと思います。これから私たちが考えていくべきことがたくさんあると思いました。

本当にお世話になりました。
 ありがとうございます。

1995. 11. 18

名大附属高校1年

野外学習訪問先一覧

名古屋大学関係 名古屋市千種区不老町

教育学部教育心理

農学部生物化学研究室

● 法学部

工学部 (建築科)

保健管理センター

名古屋大学医学部附属病院 名古屋市昭和区鶴舞65

脳神経科

名古屋大学医療技術短期大学 名古屋市東区大幸町

TEL 723-1111

看護学科

国・愛知県・名古屋市の機関

農林水産省愛知県食糧事務所

名古屋市昭和区安田町4-8-2

TEL 763-4343

自衛隊守山駐屯地 名古屋市守山区 TEL 222-0309

検疫所 名古屋市港区築地町11-1 TEL 661-4133

● 名古屋港税関 名古屋市港区入船2丁目3-12 郷田日易

TEL 654-4100

名古屋气象台 名古屋市千種区日和2-18

TEL 751-5577

愛知県庁 名古屋市中区三の丸3-1-2

TEL 961-2111

環境部大気保全課

愛知万博誘致対策局

TEL 953-1790

衛生部薬務課

内線3244

愛知県衛生研究所 名古屋市中区三の丸7-6

TEL 911-3111

愛知県総合農業試験場

愛知郡長久手町大字岩作三が峯1-1

TEL 05616-2-0085

愛知陸運局 総務課 名古屋市中川区北江1-1-2

TEL 351-5311

名古屋市役所 名古屋市中区三の丸3-1-1

TEL 961-1111

都市計画課施設課 TEL 972-2560

● 衛生局保健予防課 TEL 972-2631

緑地管理課 TEL 972-2473

千種保健所 名古屋市千種区覚王山通8-37

TEL 753-1951

天白保健所 名古屋市天白区島田2-201

TEL 807-3900

瑞穂保健所 名古屋市瑞穂区本願寺3-11

TEL 851-8141

千種警察署 名古屋市千種区

名古屋市生活衛生センター 名古屋市千種区若水

TEL 721-0191

名古屋北図書館

TEL 911-8270

名古屋市教育センター 教育相談室

名古屋市熱田区神宮3-6-14

TEL 683-6414

名古屋市公害対策局 総合監視センター

名古屋市千種区吹上二丁目5-9

TEL 733-0545

名古屋市科学館 名古屋市

TEL 201-4486

名古屋港水族館 業務課 名古屋市港区港町1-3

TEL 654-7080

名古屋市下水科学館 名古屋市北区名城113

名城処理場 TEL 911-9245

市スポーツ振興事業団 名古屋市南区東又兵エ5-1-16

TEL 614-7500

スポーツ情報センター 名古屋市南区東又兵エ5-1-16

TEL 614-7511

裁判所関係

裁判所 名古屋市中区三の丸4-1 TEL 203-1611

名古屋矯正管区 名古屋市東区白壁1-15-1

名古屋合同庁舎3号館 TEL 971-5961

家庭相談所 名古屋市北区清水4-17-1 TEL 911-3175

弁護士会館 (医療事故情報センター) 間瀬弁護士

名古屋市中区三の丸1-4-2 TEL 203-1651

南部弁護士事務所 名古屋市熱田区神宮2丁目6-6

TEL 682-3211

教育関係

名古屋養護学校 名古屋市西区中小田井5丁目88

TEL 502-8866

名古屋盲学校 名古屋市千種区北千種1丁目8-22

TEL 711-0009

フリースクール (野並子どもの村)

名古屋市天白区野並相生28-341

TEL

高蔵幼稚園 名古屋市熱田区尾頭町3-19

TEL 671-3570

国際関係

国際センター 名古屋市 中村区 那古野一丁目47-1
TEL 581-0100
アジア保健研修センター 日進市 米野木町 南山987-30
TEL 05617-3-1950
国際協力事業団 (JICA) 東海支部
名古屋市 中区 丸の内2-4-7
愛知県産業貿易館 西館 8階
TEL 221-7103
名古屋市国際研修センター 名古屋市 名東区 亀の井2-73
TEL 702-1391
南山大学留学生別科 名古屋市 昭和区 山里町18
TEL 832-3123
国際留学生会館 名古屋市 港区 港栄2-2-29
TEL 654-3511

福祉関係

愛知県老人ホーム 瀬戸寮 瀬戸市
TEL 0561-84-5271
老人ホーム 八事苑 名古屋市 天白区 大坪2-801
TEL 834-3000
特別養護老人ホーム 厚生院
名古屋市 名東区 勢千坊2-1501
TEL 704-2211
サマリアハウス 名古屋市 昭和区 恵方町2-15
TEL 841-5554
サフラン生活園 名古屋市 中区 千代田3-21-14
TEL 322-3085
福信館 (ホームレス援助) 名古屋市 東区 葵2-6-29
TEL 935-7180

医療関係

愛知県がんセンター 名古屋市 千種区 鹿子殿
TEL 721-5151
中京病院 名古屋市 南区 三条一丁目1 TEL 691-7151
愛知医科大学 愛知郡 長久手町 TEL 05616-2-3311
港共立総合病院 名古屋市 熱田区 六番三丁目
TEL 654-2211
南生協病院 名古屋市 南区 三吉町6丁目8
TEL 611-6111
碧南市民病院 碧南市 平和町3丁目6
TEL 0566-48-5050
可世木産婦人科医院 名古屋市 中区 4-16-16
TEL 251-8801
はちや整形外科 (骨移植センター)
名古屋市 千種区 末盛通2-4 TEL 751-8188
愛知骨髄移植支援の会 名古屋市 中区 正木町3-13-8
山田ビル702 TEL 323-9199

プリンスクリニック眼科 名古屋市中区 栄3-8-21
TEL 243-6700

県薬剤師会 生活化学センター
名古屋市 熱田区 伝馬町2丁目19-18
TEL 683-1131

その他

中部日本放送 CBC 広報 名古屋市中区 栄1-2-8
TEL 241-8111
中日新聞 名古屋市中区 三の丸1-6-1 TEL 201-8811
産業技術記念館 名古屋市 西区 則武新町4丁目1-35
TEL 551-6111
JT 日本たばこ 名古屋市 東区 矢田南4-1-4
TEL 721-5151
結婚式場 東山会館 名古屋市 千種区 丘上1-39
TEL 751-2700

東別院 名古屋市中区 橋2-8-55 TEL 321-9201
熱田神宮 名古屋市 熱田区 神宮1-1-1 TEL 671-4151
海上の森 ものみ山自然観測会
徳川美術館 名古屋市 東区 徳川町1017 TEL 935-6262
YMCA 名古屋市中区 TEL 961-7707
服部恵美子 (剛丈) 氏宅

シネマテーク 名古屋市 千種区 今池1-6-13
今池スタービル TEL 733-3959

シネマスコール TEL 452-6036

東宝映画 宣伝部
日本映画連盟 菊川氏宅 名古屋市 天白区 植田山1-1803
TEL

盲導犬訓練センター 名古屋市 港区 十一屋1-70-4
TEL 382-6776

松坂屋 名古屋市中区 栄3-16-1 TEL
生活協同組合生活文化会館 名古屋市 千種区 稲船通1-39
TEL 781-6179

名古屋食糧販売協同組合 米穀課
名古屋市 中村区 名駅南2-2-24
TEL 581-0351 (政府米)
581-0352 (自主米)

名城大学日進グランド TEL 832-1151
(株)TOTO

名古屋市 中区 錦2-19-25 日本生命広小路ビル
TEL 201-0200

シャストラマー 倉田大輔氏
作曲家 栗本陽子氏